



平成 17 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 養命酒製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 塩澤 太朗
(コード番号 2540 東証・名証 第1部)
問合せ先 取締役総務部長 北原 正彬
(TEL . 03 - 3462 - 8125)

業績予想の修正及び埼玉工場の操業停止に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 12 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 . 平成 18 年 3 月期中間期業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,464	628	386
今 回 修 正 予 想 (B)	6,644	461	287
増 減 額 (B - A)	819	166	98
増 減 率 (%)	11.0	26.5	25.4
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月中間期)	7,432	670	390

- 2 . 平成 18 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	15,275	1,537	848
今 回 修 正 予 想 (B)	13,914	897	539
増 減 額 (B - A)	1,361	640	309
増 減 率 (%)	8.9	41.6	36.4
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	15,015	1,390	818

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 16 円 41 銭

3. 修正の理由

中間期につきましては、当社の主力商品である「養命酒」の販売数量が低迷し、売上高が既公表値に対し、819 百万円減の 6,644 百万円となる見込みであります。また、売上高の減収に伴い経常利益及び当期純利益も既公表値に対して経常利益で、166 百万円減の 461 百万円、当期純利益で 98 百万円減の 287 百万円となる見込みであります。

通期につきましては、当中間期の修正を踏まえるとともに、下期に新たなマーケティング活動の展開を予定しており、この効果を加味し、売上高は 13,914 百万円となる見込みであります。経常利益につきましては、売上高減少による影響に加えて中期経営計画に基づく諸施策の費用の発生を予定しており、897 百万円となる見込みであります。また、当期純利益につきましては、下記に記載の通り埼玉工場の操業停止に伴い、工場施設の休止による損失を下期に約 860 百万円見込んでおりますが、事業効率・財務体質の向上を図るため保有資産の見直しを進めており、下期に見込む資産の処分益を加味し、539 百万円となる見込みであります。

4. 埼玉工場の操業停止

当社におきましては、中期経営計画に基づき当社の主力である「養命酒」事業につきまして、高収益事業体質の定着を目指し、原料調達・生産・物流体制の抜本的な見直しを含めたコスト構造の改革を進めてまいりました。その具体的施策として、既に原料用アルコールの外製化を実施しており、この度、自社で製造しておりました原料用ぶどう糖の外製化の目途がたったことにより、ぶどう糖製造を主体とする原料工場である埼玉工場（所在地：埼玉県鶴ヶ島市鶴ヶ丘 3 3 1 - 1）の操業を平成 18 年 3 月 31 日をもって停止することを本日の取締役会にて決議いたしました。なお、工場施設の休止によって生じる特別損失は約 860 百万円を見込んでおり、上記通期業績予想の修正に織り込んでおります。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上